

2023 年度(令和 5 年度)学校評価自己評価表

精華中学校区	校番 35	福山市立藤江小学校
最終更新日		2023年(令和5年)4月1日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
 ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状
<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒はコロナ禍にあっても、人のため・学校のため・地域のためにできることはないかと考え活動を工夫している。ボランティアや地域の行事に積極的に参加し、社会に貢献している。 一堂に会することは難しかったが、学校・保護者・地域が互いに連携協力できるように、今後も各学校の情報を共有する。細やかに知らせる。 小規模校の良さを活かしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味をもったことを探求したり、思いを実現させようと主体的に行動する姿が増えてきている。 自分の考え持ち、積極的に話したり書いたりするなど、自己表現力の育成に引き続き取り組む必要がある。 地域とのかかわりが強く、中学校区に対する愛着が強い。

育成する力 21世紀型“スキル&倫理観” めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学ぶ力】【自己形成力】
中学校区として統一した取組等	<ul style="list-style-type: none"> 確かな学力を身に付け、自ら進路を切り開く子ども 自己肯定感が高く、社会に貢献できる子ども 「主体的な学び」の授業づくりに取組み、学力の向上を図る。 「自己表現」「あいさつ」に取組み、自己肯定感の向上を図る。 「自分で選び・決める活動」に取組み、自己形成力の向上を図る。

III 自校

ミッション
○笑顔で挨拶ができる子ども ○地域に誇りを持つ子ども ○自分の将来の夢に向かい粘り強く取り組める子ども

学校教育目標
自分を大切に 人を大切に ふるさとを大切に しなやかに、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもの育成 「チャレンジ！ 藤江っ子」 ～ 未来に向かって アップデート ～

現 状
<児童生徒> 進んで挨拶をしようという意識が高まっている。主体的な委員会活動を通して、児童に自分たちで学校をより良くしようとする気持ちが芽生えつつある。また、高学年を中心に生活面における課題に真面目に取り組み、自分の考えや思いの表現方法を工夫したりよりよくしようとしたりするが、十分ではない。 <授業> 児童と単元のゴールを共有し、1時間の学びで児童に付けたい力を明確にした授業が増えた。ICT等活用による多様な表現方法を活用して考え合う場を設定した授業を行い、一定の成果があった。教科固有のねらいを明らかにし、児童の意見をねらいにつないで深めることには課題が残る。

育成する力 21世紀型“スキル&倫理観”	主体的に学ぶ力	思考力・判断力・表現力	自己形成力
めざす子ども像	日常生活をよくするために、生活体験などの情報を生かし、自分なりの理由を付けて課題を解決している。	自分の考えを、相手意識を持って、話したりかいたりして表現している。	思いやりの心を持ち、目標を達成するために、協力し合い、粘り強く努力している。
5・6年	日常生活や地域社会をよりよくするために、様々な情報の中から課題に応じた情報を選択し、根拠をもって解決している。	既習事項を活用し、教科・領域および生活を関連付けながら、自分の考えや意見を工夫して表現している。	誰に対しても思いやりの心を持ち、より高い目標を達成するために、相手の立場や考えを尊重しながら、粘り強く取り組み、やりぬいている。

テーマ	主体的に学び続ける子どもの育成 ～自己の学びを自覚し、豊かな自己表現力を育む授業づくり～
研究内容等	①授業づくりの視点 ～「分かった！やってみよう！！」があふれる授業づくり～ ②指導方法の工夫（教材研究の充実） ～学びをつなぐ、学びでつながる、学校まるごと学びの場～ ③個に応じた指導の充実 ～「一人一人の学びを大切に！どの子どもみんなに意欲・自信を！」～
めざす授業の姿	○単元のゴールを共有し、1時間の学びで児童につけたい力を明確にした授業 ○生活や経験、他の教科・領域と関連付けながら、児童自らが課題を見つけ、主体的に考え、効果的な方法を選択しながら表現する授業 ○授業の終わりの振り返り（自己評価）を通して、児童が学びの変容を実感し自己肯定感を高めることのできる授業 ○関わり合う場の相互評価を通して、自分の成長を実感し、さらなる目標を設定して取り組む意欲を高めることのできる授業

目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)			最終評価(2月末)			
							□指標に係る取組状況	力かせ評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	力かせ評価	達成評価
2	「主体的な学び」の授業づくりをすすめて、学ぶ意欲と学習を向上させる。	★	継続	児童が主体的・協働的に学ぶ授業をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> 児童が、既習事項や他者の考え、資料を関連付けながら思考し、主体的に表現する場を設定した授業を1人1回以上提案し、検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「授業で考えることが面白い」「自分の考えと比べながら聞いている」と答える児童85%以上 自ら学習をふり返り、学びの変容・次の学びの意欲を持つ児童80%以上 							
				継続	読書活動に積極的に取り組む児童を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 「読書の花活動」を行い関心を高める。 おすすめの本を毎週ロイロノートで紹介し合う。また、読書郵便を校区で交流し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目標冊数を決めて達成する児童85%以上 ロイロノート・読書郵便で友だちが薦めている本を読み、3回以上返事を返す児童80%以上 						
2	教職員の資質・能力の向上を図る。		継続	児童が主体的に自分の言葉で表現する場を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> つなぎの年間計画を活用し、ICT等活用による多様な表現方法を活用して考え合う場を設定した授業を行い、校内・校区で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が考え合う場の設定について日頃から互いの授業を見合い、その授業について対話している教職員90%以上 ICTを使った事例等を交流する場の研修会を行う。 							
2	児童・生徒の自己肯定感を高める。		継続	生活習慣を確立し自ら進んで行動する児童を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 「トライ!3プロジェクト」に、目的意識を明らかにしながら取り組む。 児童主体の活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各委員会が中心となって行う全校活動を学期に1回以上行う。 							

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]	
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度 十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度 概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度 ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度 あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度 目標を達成できなかった。